

新春対談

俺たちから起こそう

新しい風

さいとう たけし

齋藤 豪さん (40歳)

上対馬町比田勝出身、在住。

2010年2月に「対馬とんちゃん部隊」を結成、隊長を務める。以来「対馬を売り込め！」を合言葉に、数々の地域おこしイベントに精力的に出展。結成直後の「九州ご当地グルメコンテスト」で見事優勝。昨年10月には「B-1グランプリ」初出場ながらシルバーグランプリを獲得。全国に対馬を発信した。

燃える！
対馬
TONKON
対馬とんちゃん部隊

郷土の心
みんなに
響け
Our home beats
in our hearts!

すぎむら ともり

杉村 智律さん (39歳)

厳原町日掛出身、在住。

佐須出身者で構成される地域おこしグループ「佐須響心会」のリーダー。“郷土の心みんなに響け”を合言葉に、清掃活動やロードレースなど主に地元イベントへの協力を行う。つしま蒙古太鼓を復活させ、ミュージカル「対馬物語」では迫力ある太鼓演奏でステージを盛り上げた。

「対馬とんちゃん部隊」 「佐須響心会」

昨年の対馬を振り返ったとき、この2つのグループを抜きには語れません。

今回の「next door」は、対馬のために奮闘するそれぞれのリーダーに、「地域への思い」や「地域づくり」、「今後の展望」について語っていただきました。



きたらと思って来ました。

齋藤 去年僕たちは、B・1でシルバークランプリを獲りました。

たが、僕たちはそこでトップを獲るだけという活動ではなくて、シルバーは後からついてきたものなんです。それ以外の活動こそが大事な

で。でもB・1を通して全国の町おこし団体の人たちに出会えたことは、僕たちの宝になりましたね。

齋藤 はじめまして。ようやくお会いできましたね。佐須響心会さんには以前から関心がありましたよ。僕たちと同じように「自分たちの住む町をいかに活性化するか！」って、方法は違っても気持ちは一緒というのを感じていましたから。今日はいい話ができれば！

杉村 こちらこそ。今日はよろしくお願いします。齋藤隊長とは年齢も近いということもあって、対馬のことを心から想っているんな活動をしているなあと注目してました。B・1での活躍も市民の一人としてとても嬉しかったです。今日は、「お互いが切磋琢磨して対馬を上と下から盛り上げていけたら！」そんな話がで

杉村 僕たちも響心会を中心に実行委員会を作って、ゼロから佐須まつりを企画し、小茂田浜に花火を打ち上げ、2000人くらいの方が見に来てくれました。でもやはり僕たちも花火を打ち上げるのが目的じゃなく、その過程のほうが大事って思っています。「地域づくりは心づくり、心づくりは地域づくり」という活動を続けてきたんで、この祭り、響心会ではない佐須の人たちの協力を得られたことが一番の収穫でした。

齋藤 メディアで紹介してもらった

ことで、家族からも地域からも、活動を認めてもらえるようになりましたね。最初は嫁さんからも「なんであなたがせないけん？」みたいな雰囲気でした。(笑)

杉村 「あんたやなくてもいいやろ？」でしょ…。うちもです。(笑)

齋藤 テレビに出るようになって「遊んでいたわけじゃなかったとね」と、今では夜の会議にも笑顔で送り出してくれますよ。

小学生から「僕たちも「とんちゃん部隊」のような地域おこしを頑張りたい」とか、「あいつらが頑張ってるけん、俺たちもなんかせないけんやろ」と寄付金を集めて懸垂幕を作ってくださる方もいたり。気持ち動かしやすくて、できたのが嬉しいですね。

杉村 花火が成功して、地域の方々に少しづつ信頼してもらえるようになった気がします。これまでに地道に活動してきましたけど、「したい

ちやけん、させとけばいい」っていう雰囲気も少なからずあったんです。地域を巻き込んだことで、地域の方の心が変化したのかな。この前、地元のロードレース大会で炊き出しやったんですけど、あるおばあちゃんから「孫が「佐須まつり楽しかった」と言いよったよ」と労ってもらいました。

地元の金田小学校にゲストティーチャーとして呼んでもらったんです。「700年づく小茂田祭り」のように、自分たちが始めたばかりの佐須まつりも毎年という訳にはいかないけど、2000年、3000年づく祭りにするために一緒に頑張っていこうや！」と話してきました。





杉村 たくさんのメンバーをどうやってまとめていますか？僕が1番というより、何より心がけているのは“思いやり”。私よりも若いメンバーが多いので、見てやつたり、気にしてあげたり…。まずは他のメンバーを好きにならないと自分も好きになつてもらえないからですね。

齋藤 僕はまず、トップがやらないと下もやらないという考えです。僕が動かないことには「やれやれ！」と言ったところで誰も付いて来てくれないですから。あと、若い隊員にもできるだけ、島外の会議に出て全国のB・1の仲間と顔つなぎしてもらうようにしています。

杉村 夜も出ることがあったり、自腹を切ったり、仕事も休んでもらったり…。若い人たちには申し訳ないと思うこともありますが、やつぱり自分の住んでいるとこのためだからできることなんですよ。

僕たちは地域の土台。佐須まつりも準備からずっと関わったからこそその感動がどれだけ味わえたかで、2回目のまつりが変わってくると期待しています。

齋藤 辞めたらなんて楽になることか！そうでしょ？町おこししなくてもやっていこうと思えばやれるんです。隊員たちもよくやるよね（笑）なんて。

僕たちの活動を行政からお金もらってやっていると誤解されてるのはすごく残念。島外のイベントの多くは自腹で、とんちやんの売り上げが赤字だと僕たちも赤字なんです。若い人は出世払いだった（笑）僕も自分の店潰しちゃったし…。でもやつぱりなんとかして対馬を盛り上げていきたいんですよ！

B・1で大きくお披露目頂きましたが、陸続きではない対馬に実際足を運んでもらうにはまだまだ難しさはありますけど…。



杉村 そうですね。でも、陸続きでないところに生まれたから頑張れるとかも！そうでないと地域おこしとか考えたらんやたらやろうな。活動費の手出し？もちろんうちもですよ。

齋藤 響心会さんは、空き缶拾いとか、ロードレースの炊き出しとか地域の中で活動されているのがすごいと思います。僕たちは外に外にという動きだったので、これからは地域に溶け込んでいけるよう見習ってきたいです。対馬のみなさんのお役に立ちながら、これまで通り外へのアピールもやっていきたいですね。

齋藤 よく年配の方々に「とんちやん焼き場を作らな」「韓国にも宣伝せな」とか言われるんですよ。その時「僕たちも頑張るけど皆さんも是非やってください！」と思うんです。

B・1グランプリに出店してる団体は、高校生からおじさんおばさんまで、幅広い年齢の人たちがイキイキと動いているんですよ。

杉村 そんな時は「じゃ僕たちも加勢しますんで、声掛けていいですか？」って。僕たちもそんなケースありました。実際声を掛けたら、空き缶拾いの時に新しい方が参加してくれました。中には恥ずかしいとか、若いグループに交じることに抵抗がある方もいますから。でも地域おこしに年齢は関係ない！孫のために、自分の人生終わるまでやり遂げる責任があるとと思うんです。60歳過ぎても終わりじゃないですよ。

齋藤 そうですよ。本当にそう思います。

僕もそうでしたが、みんな若くして対馬を離れているじゃないですか。“子どもたちを対馬に留めるために自分たちには何ができるか”って常に考えてますね。そのためには、どうやって対馬を知ってもらい、どうや



って対馬に来てもらって、それをどう雇用に繋げるのか…って。

杉村 今、思ったんですけど、対馬のいろんな集落にとんちゃん部隊と響心会で行って、太鼓叩いて、とんちゃん焼いて、一緒に地区のゴミ拾いするっていうのはどうですかね？

齋藤 いいですね！そういう時にメディアの力借りて広くアピールして！

杉村 年に一回でも、二回でも継続していったら「ならうちの地区にも…」って広がっていかんですかね？

自分たちもそうだったんですけど、地域おこしの仕方がわからないという人もいると思うんですね。地域おこしをやってみようというきっかけを提供することも大事なんじゃないかと。佐須まつりの花火も、地域が望んで一緒に参加してくれたから成功したんです。

齋藤 僕たちも最初はB-1なんて全く考えていませんでした。「なんとか地域を盛り上げたい！」その一心でしたから。そうそう、お互いのホームページをリンクし合えるようにしましょうよ。



杉村 いいですね！心を動かすことやりたいですね。

齋藤 まずは、島外にいる出身者の人に「対馬出身です！」って胸張って言ってもらえるような対馬に。背伸びせず、僕たちにできることをしっかりとやっていきましょう。今年はゴールドグランプリ目指します！

杉村 「対馬はいい島ばい！」って言われる町づくり・島づくりをやりましょうよ!!面白うやろうばい！



江戸時代、薩摩藩には次のような教えがありました。

- 男の順序
- 一、何かに挑戦し、成功した者
 - 二、何かに挑戦し、失敗した者
 - 三、自ら挑戦しなかったが、挑戦した人の手助けをした者
 - 四、何もしなかった者
 - 五、何もせず批判だけしている者

彼らは「風」を起こしました。そして、これからも起こし続けることでしょう。なぜなら彼らには「対馬のために」「地域のために」という誇りがあるから…。

一人ひとりが「自分のため」だけではなく「誰かのために」動き出したら、対馬は変えられるはず。まずは自分にできることから。対馬の未来は私たちの行動にかかっています。